

2月1日より、新しい医師が入職しました。



放射線科 第二部長

林 昌秀 (はやし まさひで)

資 格

- ・日本医学放射線学会:放射線治療専門医、研修指導医
- ・日本がん治療認定機構:がん治療認定医
- ・厚生労働省:臨床研修指導医

出身大学

岐阜大学(2010年 卒業)

専門分野

▶ 放射線治療全般

所属学会

- ・日本医学放射線学会
- ・日本放射線腫瘍学会
- ・日本癌治療学会
- ・日本放射線外科学会

2月より放射線科に着任しました林 昌秀と申します。これまで放射線治療専門医として県内の様々な病院で勤務してまいりましたが、このたび、放射線治療の常勤医として松波総合病院で勤務させていただくこととなりました。

これまでは強度変調放射線治療や定位放射線治療といった高精度の放射線治療を主に行っていましたが、放射線治療の適応の有無など放射線治療全般についてお気軽にご相談ください。

座右の銘は「一期一会」です。患者さまやそのご家族との出会いを大切に、日々の診療に取り組んでいく所存ですので、よろしくお願いいたします。

次のページは、「**子宮体がんと検査**」について

Matsunami Information

NEWS

当院をご利用される皆さまへ、新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

面会禁止、 夜間施錠について



発熱症状で 受診される方へ

来院前に
ご確認ください



引き続き、多大なご迷惑とご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。各お知らせの詳細は、上のQRコードよりご確認ください。

松波総合病院柔道練習会のご案内

当院柔道部の活動の一環として院内柔道場にて、柔道の練習会を開催しています。柔道経験者だけでなく、未経験の方でも一からご指導します。女性の方には、護身術をお教えいたします。下記の日程・場所で行っておりますので、ご家族・ご友人などお誘い合わせのうえ、参加される方は、下記の連絡先に事前にご連絡をお願いします。



日 時	毎週月曜日・木曜日(祝日は休止です) 17時30分～19時00分
場 所	文武両道館(笠松町旧こども館)
連絡先	058-388-0111(内線 51668) 松波総合病院 柔道部監督 松井

※2023年1月より活動場所が笠松町中央公民館から文武両道館(笠松町旧こども館)へ変更になりました。

新型コロナウイルス感染症対策に関わる 支援のご報告

このたび、当院へ温かいご支援をいただきました。厚く御礼を申し上げます。ご寄贈の品は当院で大切に使用します。

氏名・企業名	ご支援いただいた内容
株式会社 建築家・桜 様	マスク1,200枚



駐車場のご案内

立体駐車場への入庫は、左折のみとさせていただきます。右折入庫は渋滞の原因となりますので、右折入庫をなさらないよう、ご理解とご協力をお願いいたします。



ARアプリ COCOAR導入しました!!

アプリを起動し、
「月刊まつなみ」の表紙でお試しください!!



ダウンロード・詳しい使い方は
こちらから!(リンク先は病院HPです)



社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院

〒501-6062
岐阜県羽島郡笠松町田代185-1

TEL 058-388-0111(代)

FAX 058-388-4711

<https://www.matsunami-hsp.or.jp/>



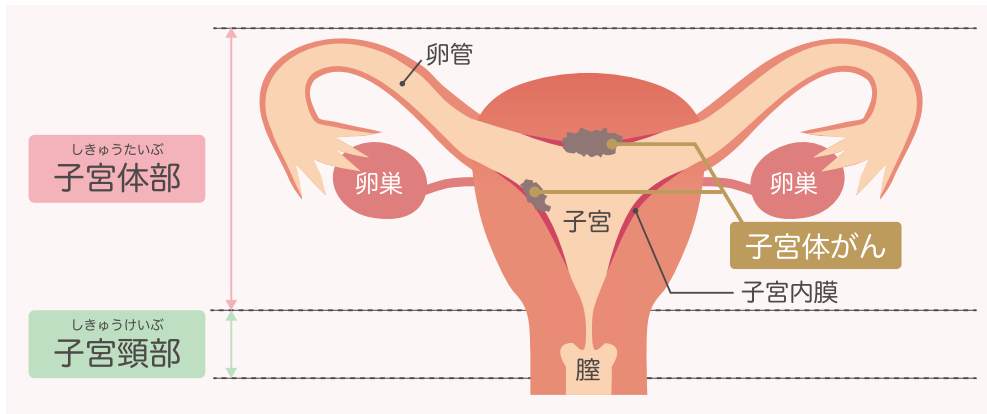
不正出血など、「おかしいな?」と思ったら産婦人科へご相談ください。 『子宮体がん』早期発見のための検査方法についてご紹介します。

子宮体がんとは

子宮は女性の骨盤内にある臓器で、大きさは成人女性で鶏の卵ほどです。子宮は下部を「子宮頸部」、上部を「子宮体部」と大きく2つに分けられます。子宮の内側は子宮内膜と呼ばれる粘膜で覆われています。この子宮内膜に発生するがんを、子宮体がんと呼びます。

発症は40歳以降から増え始め、最も多いのは50代～60歳代です。しかし、近年では40歳未満の若年層でも増えています。

子宮体がんを早期発見するために、疑いのある症状や、がんのリスクを高める要因を知っておくことが大切です。



主な原因

女性ホルモンには、子宮内膜を増殖させる働きを持つエストロゲンと、子宮内膜の増殖を抑える働きを持つプロゲステロンがあります。この2つの女性ホルモンのバランスがさまざまな影響で崩れ、エストロゲンの働きが過剰になることで子宮内膜が以上に増殖し、がん発生の要因となるケースが多くあります。一方で、エストロゲンとは関係のないタイプもあります。

子宮体がん発症のリスクがある要素

●月経不順がある方 ●妊娠・出産経験がない方	プロゲステロンが分泌されにくく、女性ホルモンのバランスが崩れやすい。
●肥満、高血圧、糖尿病など 生活習慣病を発症している方	内臓脂肪などが原因で、エストロゲンが過剰に分泌される。
●ホルモン剤の服用	乳がんの術後で抗エストロゲン剤を服用している。
●家族に子宮体がん、大腸がんなどを 発症した方がいる	子宮体がんが起こりやすいリンチ症候群*1である可能性がある。 *1 発がんを抑える「ミスマッチ修復遺伝子」という遺伝子に変異していることによって発症する病気。

主な症状

- ①月経以外の出血がある
- ②閉経後の不正出血がある

90%
発生する
初期症状

子宮体がんでの初期症状は、月経以外での性器出血がある、もしくは閉経後に不正出血があつて見つかることがほとんどです。そのような症状がある場合や普段と異なる違和感がある場合には、早めに産婦人科に受診しましょう。



子宮体がんを早期発見するために

子宮体がんは、早期に見つかれば患者の70～95%近くが5年以上生存*2し、その多くは治癒に至っています。がんが子宮外に広がっていない場合や進行が遅い場合は、予後も比較的良好です。また、初期であれば子宮の摘出を行わず、妊娠の可能性を残した治療法が可能な場合もあります。

早期発見・早期治療をするために、不正出血などの症状が現れたら早めに子宮体がん検診を受けることをおすすめします。当院の産婦人科では、超音波検査・細胞診による検査から開始し、がん発症が疑われる場合は、追加検査を行います。また、まつなみ健康増進クリニック「人間ドック・健診センター」でもオプション検査として、子宮体がんや子宮頸がんといったがん検査をお選びいただくことも可能です。

【超音波（エコー）検査】

超音波を発する検査器具を腔内に挿入し、画像化した子宮や卵巣を診て異常がないか調べます。子宮体がんを発症すると、子宮内膜の厚みが増してくることが多いため子宮の大きさを確認して診断を行います。初期のがんは見逃されることがあるため、他の検査と併せて診断します。

【細胞診】

綿の細いブラシ状の検査器具で子宮内膜の細胞を採取し、異常がないかを顕微鏡で調べます。採取の際に軽度の痛みを感じる場合があります。この検査でがんの可能性が見受けられた場合、精密検査として子宮鏡検査や組織診が必要です。

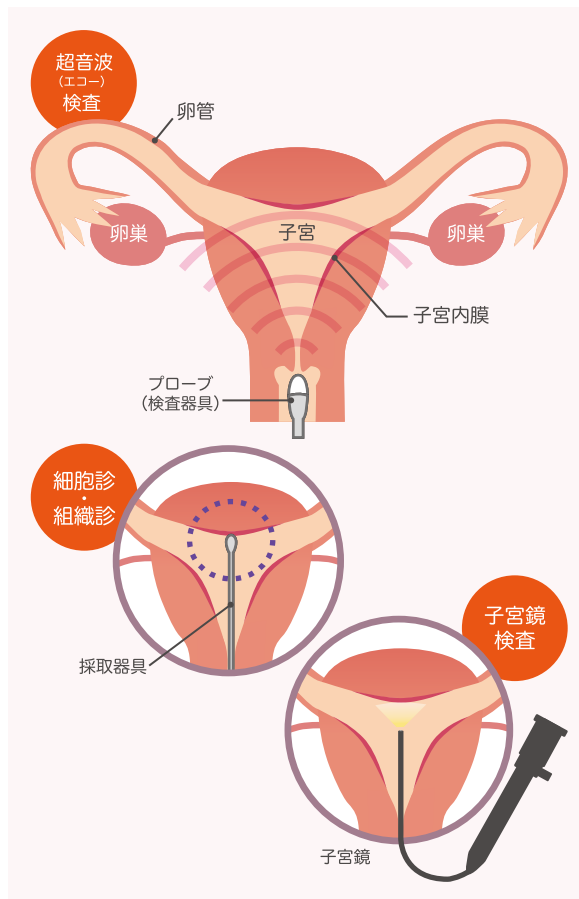
【子宮鏡検査】

約3～5mm程の内視鏡カメラで、子宮内膜の状態などを詳細に観察できます。子宮体がんのほか、子宮筋腫や子宮内膜ポリープなどを調べるのが可能な検査です。がんを疑う所見があれば、子宮内膜の組織を採取し病理検査を行います。

【組織診】

細胞診と似ていますが、より詳細にがんの疑いを調べることができます。細胞診で異常があつた場合には、この検査で組織型と悪性を調べ、子宮体がんであるかの確定診断をします。採取の範囲が広い場合には痛みを感じることもあるため、麻酔をかけて行います。

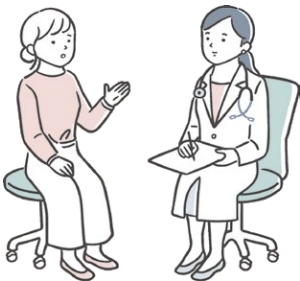
*2 参考:国立研究開発法人国立がん研究センター 院内がん登録生存率集計(2013-2014年)



▲ 検査イメージ

子宮体がんに関するご相談は、産婦人科へ受診・お問合せください。

当院の産婦人科には、「婦人科腫瘍学」「周産期医学」「生殖内分泌学」「女性医学」のすべての分野の常勤医が在籍しております。また今年1月より女性の加川葉月医師が着任しました。検査・治療についてお悩みの方は産婦人科までぜひお気軽にご相談ください。



産婦人科
診療科ページ

産婦人科
診療担当表



担当医師プロフィール



産婦人科 医員
加川 葉月
(かがわ はづき)
(2017年 愛知医科大学 卒業)

専門分野
▶産婦人科一般
所属学会
・日本産科婦人科学会